



最先端の設備、施設が充実した 中央大学の都心型キャンパス



刺激的に学ぶ。 世界とつながる後楽園キャンパス

世界中から人、モノ、情報が集まる街・東京は、研究開発分野において高く評価される世界有数の研究都市でもあります。そんな東京の中心部に、後楽園キャンパスは位置します。

最寄り駅である後楽園駅は東京駅からわずか9分と交通至便。さらにキャンパス内には110以上の研究室や大型実験・研究設備が揃えられ、高度な研究に集中できる環境が整っています。世界の最新情報に常に触れていられる、都心ならではの刺激的な研究生活を楽しみましょう！



Message from Head, Faculty of Science, Engineering and Society



社会理工学部

主幹

手計 太一 教授

都市環境学科

CONTENTS

- 02 世界とつながる後楽園キャンパス
- 04 Message from Head, Faculty of Science, Engineering and Society
- 06 社会理工学部の特長
- 08 都市環境学科
- 12 ビジネスデータサイエンス学科
- 16 人間総合理工学科
- 20 共通カリキュラム
- 21 理工D&I教育
- 22 Global Education & Research
- 24 大学院進学
- 26 キャリアサポート
- 27 奨学金／学生サポート

Faculty of Science, Engineering and Society

本学は建学の精神「實地應用ノ素ヲ養フ」のもと、社会に真に役立つ学問の実践を重視してまいりました。2026年度から理工学部は、基幹理工学部、社会理工学部、先進理工学部の3学部へと再編され、新たな教育研究体制がスタートします。社会理工学部は其中で、社会と科学技術を結び付け、複雑化する社会課題の解決に挑む人材を育成することを使命として設置されました。

本学部は、都市環境学科、ビジネスデータサイエンス学科、人間総合理工学科の3学科から構成され、都市・社会基盤、データと経営、人間と技術の関係といった多様な視点から、現代社会が直面する課題にアプローチします。気候変動への適応、持続可能な都市の実現、データ駆動型社会への対応、人間中心の技術設計など、今日の課題は単一分野では解決できないものばかりです。本学部では、専門性を核としながらも分野を越えた学びを通じて、社会の課題に対して自ら問いを立て、解決策を構想し、実行できる力を養います。

教育面では、理工学の基礎に加え、データサイエンス、社会科学的思想、コミュニケーション能力、倫理観などを体系的に修得できるカリキュラムを整えています。実験・

演習・プロジェクト型学習を重視し、現実の社会課題に触れながら学ぶ機会を多く提供します。また、本学部では学科の垣根を越えた学生同士の交流と協働を推進する教育プログラムを展開していることも大きな特色です。異なる専門分野を学ぶ学生がチームを組み、共通の課題に取り組むことで、多様な視点を理解し、協働して解決策を生み出す力を養います。こうした経験は、将来の社会において不可欠となる分野横断的な課題解決力の基盤となります。

さらに、本学部では大学院への進学を強く推奨しています。高度化・複雑化する社会課題に対応するためには、学部で身につけた基礎力の上に、より専門的かつ研究志向の学びを積み重ねることが重要です。本学理工学研究科との密接な連携により、学部段階から研究活動に触れる機会を提供し、研究開発型人材や高度専門職業人として社会に貢献できる道を大きく開いています。教員は最先端の研究に取り組んでおり、都市環境、データサイエンス、人間・社会システムに関する幅広い研究分野において、国内外の大学・研究機関や企業、行政との共同研究も活発に行われています。学生はこうした研究環境の中で課題設定力や探究

力を養い、社会に新たな価値を創出する力を身につけていきます。

後楽園キャンパスは東京の中心に位置し、産業界や行政機関など多様な機関との連携にも恵まれています。学生はこの環境を活かし、学内外のプロジェクトや地域連携活動に参加することで、「実学」を体験しながら成長していきます。こうした経験は、卒業後の多様な進路に確かな力として結実していきます。

未来の社会は、技術革新と社会変化が加速度的に進む予測困難な時代です。そのような時代において重要なのは、専門知識だけでなく、社会を理解し、多様な立場の人々と協働しながら課題を解決できる力です。社会理工学部は、科学技術と社会をつなぐ架け橋となる人材を育成し、持続可能でより良い社会の実現に貢献してまいります。

科学・工学を通して、社会に貢献したいという志を持つ皆さんと共に学べることを、心より楽しみにしています。

理工学術院長・
理工学研究科委員長
庄司 裕子 教授



2026年度より、本学理工学部は基幹理工学部、社会理工学部、先進理工学部の3学部へと再編され、3学部の教員は理工学術院に属し一体的に運営していくことになりました。これは、教育の専門性と魅力を一層高めるための転換です。一方で、理工学研究科は従来通り一体的な組織として維持されます。このように「学部は再編して分割しつつ大学院は統合を保ち、教員は理工学術院に所属して3学部と大学院を一体的に運営する」という方式によって、組織としては進展著しく多彩な研究領域を網羅しつつ、学生は自己の関心興味に沿って学科や専攻を選びやすくするための環境を提供します。

社会工学部の特長

建学の精神「**實地應用ノ素ヲ養フ**」に基づく「**実学重視**」教育の立場から、
科学技術に関する理論や技術に幅広く精通し、
社会が抱える多様で複雑な課題に対してそれらを応用し、
より良い社会の実現に資する学際的人材を養成します。

グローバル展開と 学際化を見据えた教育

社会工学部では、理工分野の目線から社会をデザインし課題を解決するという観点から、その入学初期よりグローバル展開と学際化を見据えた教育を実施しています。一例として、社会工学部3学科1年次共通科目である社会工学概論ではTOKYO GLOBAL GATEWAYを利用した英語体験に加え、それらの体験を通じて学生の学科間の交流を促進することで、分野間の連携を見据えた教育を実施していきます。

社会課題と向き合い、
解決策を探り、
新たな価値を創造し、
技術革新を
起こす人を育てる

社会実装を 見据えた研究活動

社会工学部3学科は社会課題を解決するという共通のミッションを達成するために、社会実装を見据えた研究活動が数多く行われており、それに必要な最先端の実験施設を豊富に備えています。また、これらの社会実装には高い専門性が要求されることから、大学院進学を見据えた学部教育を実施していきます。



専門分野への 高い就職率

社会工学部での研究・教育活動を通じて成長した学生は、それぞれの専門領域へ飛び立っていきます。3学科ではそれぞれの専門分野への高い就職率を誇っています。また、社会展開を考えた時には官の目線も必要不可欠であることから、例えば都市環境学科では公務員志望者向けの公務員講座などを実施することで、数多くの合格者を輩出しています。

就職希望者における
就職決定率
(2025年3月卒)

98.6%

国家公務員
総合職
合格者
(2025年度)

25名

(国家公務員総合職は大学院修了生を含む)



都市環境学科

研究分野紹介

研究室についてもっと詳しく知りたいなら
研究室ガイドをご覧ください



持続可能な都市環境を

地域と共創する知識と技術を習得

自然現象との調和を図りつつ人々が暮らしやすい生活環境、社会基盤を作るための技術を学び、自然現象を理解し、社会基盤施設を計画、設計、施工、維持管理し、それが人間や生態系に及ぼす影響の評価・分析ができる人材の育成を目指しています。

本学科では、安全安心な社会を支える、社会基盤施設の整備・維持管理を担う「社会基盤系」と持続可能な技術とデジタルツインを担う「水環境・防災系」、快適で多様な活動が生まれる公共空間を市民とともに計画・創造する「計画系」の3つの系を設置しています。



専門性

- ◆ 新技術に対応できる応用力を培うための基礎力
- ◆ 環境・社会・経済と調和させ、持続可能な生活空間を整備できるデザイン力
- ◆ 安全・安心な社会を構築するためのエンジニアリング力

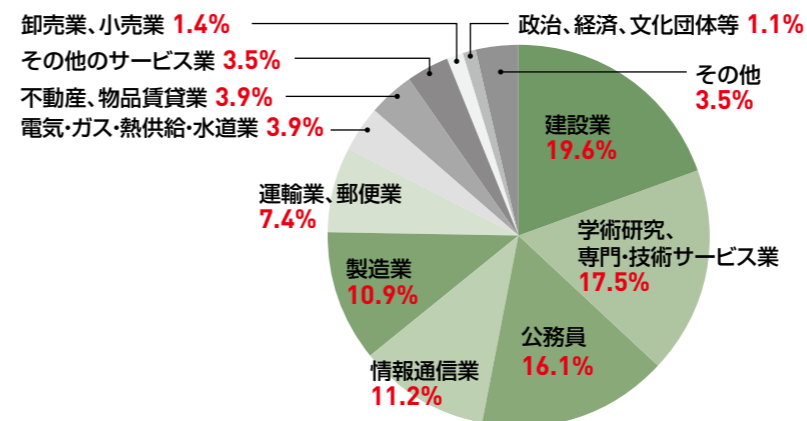
学びのキーワード

海岸・港湾、水工学・水文学・水資源学、地球水循環、気候変動、気候シミュレーション、コンクリート材料、地盤工学、基礎構造・地下構造、地形・地質・活断層、都市デザイン、都市システム、交通まちづくり、スマートシティ、モビリティ、防災、計算力学・CG、シミュレーション、バーチャルリアリティ、国際プロジェクト、環境政策・環境リスク評価 など

業種別就職状況・主な就職先

※2023～2025年 学部・大学院卒業生のうち、就職者

安藤・間/奥村組/竹中工務店/大林組/鹿島建設/清水建設/大成建設/前田建設工業/フジタ/森ビル/建設技術研究所/パシフィックコンサルタンツ/オリエンタルランド/オリエンタルコンサルタンツ/JFE エンジニアリング/JR 東日本コンサルタンツ/大日本コンサルタント/日本工営/日本国土開発/東京電力ホールディングス/日本航空/アクセンチュア/東海旅客鉄道/京王電鉄/京浜急行電鉄/首都高速道路/東日本高速道路/中日本高速道路/日本電気/経済産業省/国土交通省/東京都庁/神奈川県庁/千葉県庁/横浜市役所/本田技研工業 など多数



有川 太郎 教授
Professor ARIKAWA Taro
海岸・港湾

大下 英吉 教授
Professor OSHITA Hideki
コンクリート

檜山 和男 教授
Professor KASHIYAMA Kazuo
計算力学

金田 平太郎 教授
Professor KANEDA Heitaro
地形・地質・活断層

志々目 友博 教授
Professor SHISHIME Tomohiro
環境政策・環境リスク評価

谷下 雅義 教授
Professor TANISHITA Masayoshi
都市地域システム

手計 太一 教授
Professor TEBAKARI Taichi
水工学・水文学・水資源学

西岡 英俊 教授
Professor NISHIOKA Hidetoshi
基礎構造・地下構造

平川 大貴 教授
Professor HIRAKAWA Daiki
地盤工学

竹内 龍介 准教授
Associate Professor TAKEUCHI Ryusuke
交通計画、公共交通計画及び鉄道計画

新田 友子 准教授
Associate Professor NITTA Tomoko
気候・水循環

三浦 詩乃 准教授
Associate Professor MIURA Shino
都市およびコミュニティのデザイン



挑んでいきたい
大規模なプロジェクトに
インフラ・防災という
日々の生活と切り離せない

Campus Diary

キャンパス・ダイアリー

丸山 里那子

都市環境学科 3年 ※取材時
新潟県立長岡高等学校出身

Q. 中央大学を選んだ理由を教えてください

他大学の似た学科と比較して、都市計画や都市デザインなどのソフト面についても学ぶことができると思ったからです。大学自体も都心にあることで色々な場所に気軽に出かけられますし、その上、実験設備も充実している点も魅力でした。

Q. 都市環境学科を選んだ理由は？

インフラや防災は、すべての人にとって身近な問題であると同時に、国家の維持や発展に非常に重要な要素です。国や世界など、大規模なプロジェクトに直接的に関わることができる業種に就きたいと思ったからです。

Q. 都市環境学科の魅力を教えてください

OB・OG とのつながりが強い点です。国家公務員の合格率が高い学科なので、卒業生にも公務員が多く、国家公務員の試験対策講座「公務員講座」などでは、実際に社会で活躍する先輩の講演を聞く機会が多々あり、時には懇親会でお話できる場があります。

Q. 特に面白かった授業や、学科の特徴的な授業を教えてください

「フレッシュマンセミナー」です。入学後すぐに、日本の国土の特徴から実際の施工事例まで、土木工学に関わる前提知識を幅広く学ぶことができます。貸切の船に乗って隅田川にかかる橋梁を見学するなど、フィールドワークもあり楽しめる授業です。

Q. 高校生へのメッセージをお願いします

同じ名前の学科でも大学によって学ぶ内容が異なったり、実験重視・座学重視などウェイトの置き方が違ったりするので、進学先選びは慎重に。本当にやりたいことができる学科が見つかったら、きっと受験勉強に対するモチベーションも上がると思います。



Pick-up 授業

1年次



都市環境学概論

振動実験装置での巨大地震体験や、隅田川周辺の水辺空間の船上からの見学などを通じて、都市環境学の全体像を理解するとともに、それを学ぶ意義、目的を明確にします。

2年次



自然環境論

都市の自然環境の軸となる河川・水辺を対象とし、水辺の生物と地形・水流等の基盤となる自然との相互関係及び人間の営みとの関連などを調査することにより、生態学的な知見に基づく自然環境の基本的な見方を習得します。

2026年度入学生

		1年次	2年次	3年次	4年次	
専門教育科目カリキュラム	基礎科目	数学	線形代数/微分・積分/解析学基礎/常微分方程式/偏微分方程式確率・統計/データ解析基礎	ベクトル解析/フーリエ解析/固有値解析/複素関数/回帰モデル/クラス分析/最適化理論/ミクロ経済学序説		
		情報		プログラミング言語	数値解析	
		理学	力学/基礎化学/地学	物理実験/化学実験	熱力学・電磁気学	
	コア科目		都市環境学概論/都市環境学概論2		空間情報学	卒業研究I/卒業研究II
	コア選択科目				社会基盤系ゼミナール1/水環境・防災系ゼミナール1/計画系ゼミナール1/社会基盤系ゼミナール2/水環境・防災系ゼミナール2/計画系ゼミナール2	
	コース				現場見学/公務員のための都市環境学	建設技術者のための都市環境学/国際技術者のための都市環境学
	キャリア・倫理		都市環境キャリアデザイン			
	社会基盤系	(1) 構造・材料	材料力学・同演習	構造力学1/コンクリート材料1/構造力学2/コンクリート材料2		
		(2) 土質	土質力学1	土質力学2/土質力学3		
	水環境・防災系		基礎流体力学・同演習	水理学1・同演習/海岸水理基礎/大気流体基礎		
計画系		空間のマネジメント	都市環境計画1/都市環境計画2			
応用	(1) 社会基盤系			鉄筋コンクリート・同演習/土質力学4/構造力学3/固体力学/地盤工学1/構造シミュレーション	材料科学論/地盤工学2/地盤動力学	
	(2) 水環境・防災系			水理学2/海岸・港湾工学/水文学/河川工学/沿岸環境工学	都市水循環/海岸水理学/気象学	
	(3) 計画系			都市環境計画3/コミュニティデザイン	都市環境政策/離散選択モデル/輸送システム/政策評価手法	
展開科目			自然環境論/空間情報学実習	振動と耐震1/地形・地質工学/空間デザイン演習/振動と耐震2/地理空間情報学/防災工学/環境リスク評価論/基礎生態学	計算力学/維持管理工学/連続体力学	
社会理工学部共通科目		社会理工学概論				

3年次



コミュニティーデザイン

地域に根ざすコミュニティの「ありたい姿」を実現する仕組みと場づくりをテーマに、基礎的な社会調査および設計を実践し、プランナーとしてデザインを提案する能力を養います。

4年次



国際技術者のための都市環境学

都市インフラ整備、環境管理、災害対策などについて、海外で活躍されている事例紹介も踏まえ、国際的視点で探求するとともに、海外で活躍できる人材養成を目標とします。

Pick-up 研究室

基礎構造・地下構造研究室(西岡 英俊 教授)

社会を支えるインフラの地面の下には、地上部分の重さを支える「基礎構造」があります。令和6年能登半島地震では基礎構造が耐震補強されていないビルが倒壊しました。また、地下トンネルや下水道管のような「地下構造」も重要なインフラです。当研究室では、水平2方向振動台を用いた模型実験を中心に、このような基礎構造・地下構造の設計法・施工法・

維持管理技術に関する研究開発を通じて、良質なインフラ整備に貢献することを目指しています。



都市システム研究室(谷下 雅義 教授)

気候変動や頻発する災害、そしてAIや自動運転といった進化する技術の中で、私たちはどのように行動しているのか。またどのようなインフラや制度を整備すれば、効率と公平を両立させた持続可能な都市を築くことができるのか。交通や土地利用をテーマに、地域の特性や市民のニーズを深く理解し、空間統計や計量分析を駆使して、市民・企業・

行政の意思決定を支援する研究を行っています。



ビジネスデータサイエンス学科

研究分野紹介

研究室についてもっと詳しく知りたいなら
研究室ガイドをご覧ください



ビジネス領域を中心としてデータサイエンスを学ぶ。

理論と実践を備えたデータサイエンティストを養成

ビジネスデータサイエンス学科ではビジネス分野を中心としたデータサイエンス教育に力を入れており、「データサイエンス」「データエンジニアリング」「ビジネス」の3領域を柱として理論と実践両面の教育を行い、社会全体のデータサイエンスを推進できる人材を輩出します。データサイエンスを基点に「ビジネス」というキーワードをあえて広く捉えることで、学生の様々な社会での活躍領域での数理的・工学的基礎を身につけることを目的としています。

専門性

- ◆ 「データサイエンス」力 (DS力)
統計科学、情報処理、最適化等を理解し、使える力
- ◆ 「データエンジニアリング」力 (DE力)
情報処理技術でDS力をシステムに実装、運用する力
- ◆ 「ビジネス」力
課題を理解し、問題設定し、DS/DE力を駆使し解決する力

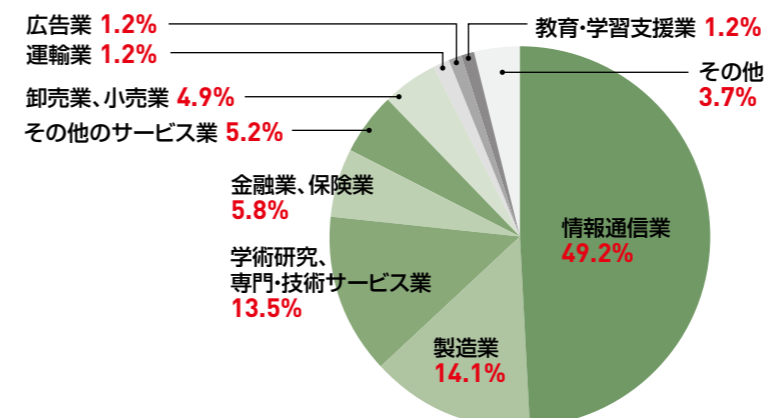
学びのキーワード

マーケティング・サイエンス、センシング技術、スマートファクトリー、組織設計・マネジメント、都市情報科学、金融工学、応用最適化、応用統計学、医療統計学、機械学習、人工知能、自然言語処理、情報価値工学 など

業種別就職状況・主な就職先

※2023～2025年 学部・大学院卒業生のうち、就職者

NTT データグループ/エヌ・ティ・ティ・データ/伊藤忠テクノソリューションズ/NTTドコモ/KDDI/NECソリューションイノベータ/SCSK/エヌ・ティ・ティ・コムウェア/キヤノンITソリューションズ/ソフトバンク/アクセントゥア/シンプレクス・ホールディングス/フューチャー/みずほリサーチ&テクノロジーズ/三菱UFJインフォメーションテクノロジー/クレディセゾン/リクルート/電通国際情報サービス/日立製作所/セイコーエプソン/三菱電機/日産自動車/日本電気/本田技研工業/全日本空輸/東京都教育委員会/横浜市教育委員会 など多数



- 磯村 和人 教授**
Professor ISOMURA Kazuhito
組織設計・マネジメント
- 加藤 俊一 教授**
Professor KATO Toshikazu
ヒューマンメディア工学
- 河瀬 康志 教授**
Professor KAWASE Yasushi
組合せ最適化
- 後藤 順哉 教授**
Professor GOTOH Jun-ya
数理最適化
- 庄司 裕子 教授**
Professor SHOJI Hiroko
情報価値工学
- 中條 武志 教授**
Professor NAKAJO Takeshi
品質環境マネジメント
- 長塚 豪己 教授**
Professor NAGATSUKA Hideki
統計学
- 生田目 崇 教授**
Professor NAMATAME Takashi
マーケティング・サイエンス
- 難波 英嗣 教授**
Professor NANBA Hidetsugu
自然言語処理
- 樋口 知之 教授**
Professor HIGUCHI Tomoyuki
統計的機械学習
- 大草 孝介 准教授**
Associate Professor OKUSA Kosuke
データ科学・センシング技術・スマートファクトリー
- 小島 将裕 准教授**
Associate Professor KOJIMA Masahiro
医療統計学・生物統計学
- 馬場 弘樹 准教授**
Associate Professor BABA Hiroki
都市情報科学



何気ない行動にも
すべて理由があると
教えてくれたのが
データサイエンスでした

Campus Diary

キャンパス・ダイアリー


金子 優菜 / ビジネスデータサイエンス学科 4年 ※取材時
私立中央大学附属横浜高等学校 (神奈川県) 出身

- Q. ビジネスデータサイエンス学科を選んだ理由を教えてください**
- オープンキャンパスで興味を持ったからです。膨大なデータの中からパターンやトレンドを見出し、様々な問題を解決できることに感心しました。人の行動ひとつ取っても、理由や傾向が隠れていて、それらの行動を数値で分析するのが面白いと感じました。
- Q. ビジネスデータサイエンス学科の魅力を教えてください**
- 「21世紀で最もセクシーな職業」が、データサイエンティストとも言われるほど、今注目されている分野であること。データサイエンスは、数学や統計、人工知能、機械学習、論理的思考力、分析力など、様々な能力が求められるので、それらを基礎から応用、実践まで触れることができるのは魅力の一つです。
- Q. 好きな授業はありますか？**
- 「データサイエンス実験」です。実際に私たち学生が被験者となって、様々な条件下で実験を行い、そのデータを分析し考察を行います。単純にデータを分析するだけでなく、効果的なデータ収集方法まで学べるところに面白さを感じました。
- Q. 研究テーマを教えてください**
- 統計学の「確率過程」を研究しています。確率過程は、時間軸に着目していて、この研究が進むと、例えば、ある時刻での来店者数を予測したり、ある製品が故障するまでの期間を予測したりすることが可能です。日常生活に役立つ内容なので興味深く研究しています。
- Q. 高校生へのメッセージをお願いします**
- 広く様々な分野を学ぶので、色々なことに興味関心がある人は楽しい学科です。みなさんとお会いできることを楽しみにしています！




Pick-up 授業

1年次 **プログラム言語及演習1**



本科目では、データサイエンスに必須のプログラミング言語Pythonについて集中的に学び、関連科目の基盤となる知識とスキルを修得します。

2年次 **データ解析2**




本科目では、様々なデータや分析目的に対応したデータ解析技術を学びます。理論の学習と同時に、R言語を用いたプログラミング演習を通じて、実践的な技術も習得します。

2026年度入学生


	1年次	2年次	3年次	4年次	
専門教育科目カリキュラム	基礎科目	微分・積分1/微分・積分2/線形代数1/線形代数2/物理1/化学1 物理実験/化学実験 物理2/化学2			
	コア科目	情報処理/情報処理演習/プログラム言語及演習1/確率論/確率論演習/統計学/統計学演習	応用解析1/応用解析2/データ解析1/オペレーションズ・リサーチ1/テクニカル・プレゼンテーション/データサイエンス実験A/データ構造とアルゴリズム	データサイエンス実験B/オペレーションズ・リサーチ演習/データサイエンス演習	卒業研究I/卒業研究II
	コア選択科目		品質管理/企業データ分析/生産管理	マーケティング・リサーチ/サプライチェーン・マネジメント/金融工学/実験計画法/経済性工学	
	展開科目	データサイエンス基礎演習	データ解析2/プログラム言語及演習2/オペレーションズ・リサーチ2	機械学習基礎論/データベース工学/深層学習/最適化手法	時系列解析 新製品開発論/確率過程論/ソフトウェア工学
	社会理工学部共通科目	社会理工学概論	データサイエンス特別講義A/データサイエンス特別講義B		

2年次 **データサイエンス実験A**



本学科では、PBL科目を各学年で配置しており、データサイエンス実験では解析技術だけでなく現実の様々な状況を想定したデータの収集法や改善法などを、実験を通じて学びます。

3年次 **深層学習**




本科目では、データサイエンスの最新技術である深層学習について学びます。基礎理論から様々な応用モデルについて、数式モデルによる理論と演習による実践の両面から修得します。

Pick-up 研究室

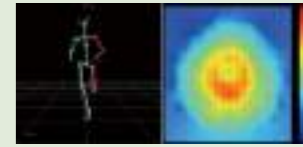
都市情報科学研究室(馬場 弘樹 准教授)

当研究室では、都市で起こりうる課題に対し、データサイエンスの力を借りて解決しようと挑戦しています。例えば、大規模イベント終了後にどうやって人の混雑を緩和するか、大雨後にどの地域が浸水してしまうか、増加する空き家をどうやって管理していくか、など多岐にわたる研究テーマに取り組んでいます。分析では数学や統計の知識だけでなく、地図の読み取りや現地調査も行い、データについて肌感覚で理解しながら深く考察していきます。



センシングデータ解析研究室(大草 孝介 准教授)

センシングは近年急速に発展してきた技術であり、携帯電話から人工衛星など様々な領域で活用されています。一方でセンサ単体では数値を計測するのみで、そこに機械学習や統計モデルを組み合わせることで初めてサービスへ展開することができ、当研究室ではその分野での社会的役割を担える人材の育成を目的としています。研究室ではセンシング×



データサイエンスをテーマに時に様々な企業や医療機関と連携して研究を実施しています。

人間総合理工学科

研究分野紹介

研究室についてもっと詳しく知りたいなら
研究室ガイドをご覧ください



人間を理工学的にとらえ、 幅広い知識と問題解決能力を育成

「人間」をキーワードとした分野横断型の学びを軸に、グローバルな視点から社会が抱える問題の解決に貢献する新時代の理工学を展開します。エビデンスベースな計画立案やデザイン、フィールドワークや実験、センシング等による多角的なデータ収集、統計学や情報処理に基礎を置くデータ解析等の、理論と技術を包括的に学び、豊かな基礎知識と総合的かつ実践的な課題解決能力を身につけます。



専門性

- ◆ Wellbeing の評価と向上を担う力
- ◆ 思考・行動の計測力と理解力
- ◆ 生命・健康の保持と増進に寄与する力
- ◆ 自然と調和した自然環境を保全する力
- ◆ 社会と自然が共生する都市環境の創出力
- ◆ 水、資源、エネルギーを担う持続可能性の運用能力

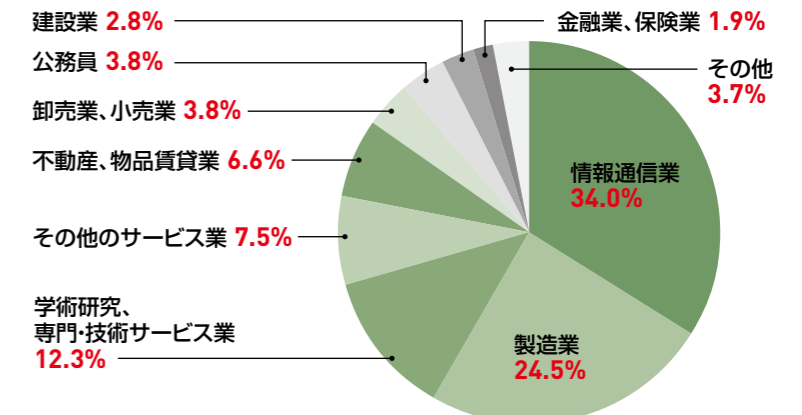
学びのキーワード

生命・健康科学、スポーツ医科学、保全生態学、群集生態学、環境保全・再生型農業、都市生態学、グリーンインフラ、グリーンビルディング、環境化学、景観環境科学、エネルギー工学、資源循環化学、応用認知脳科学、感性工学、都市（水）代謝マネジメント、疫学・生物統計学、環境材料学 など

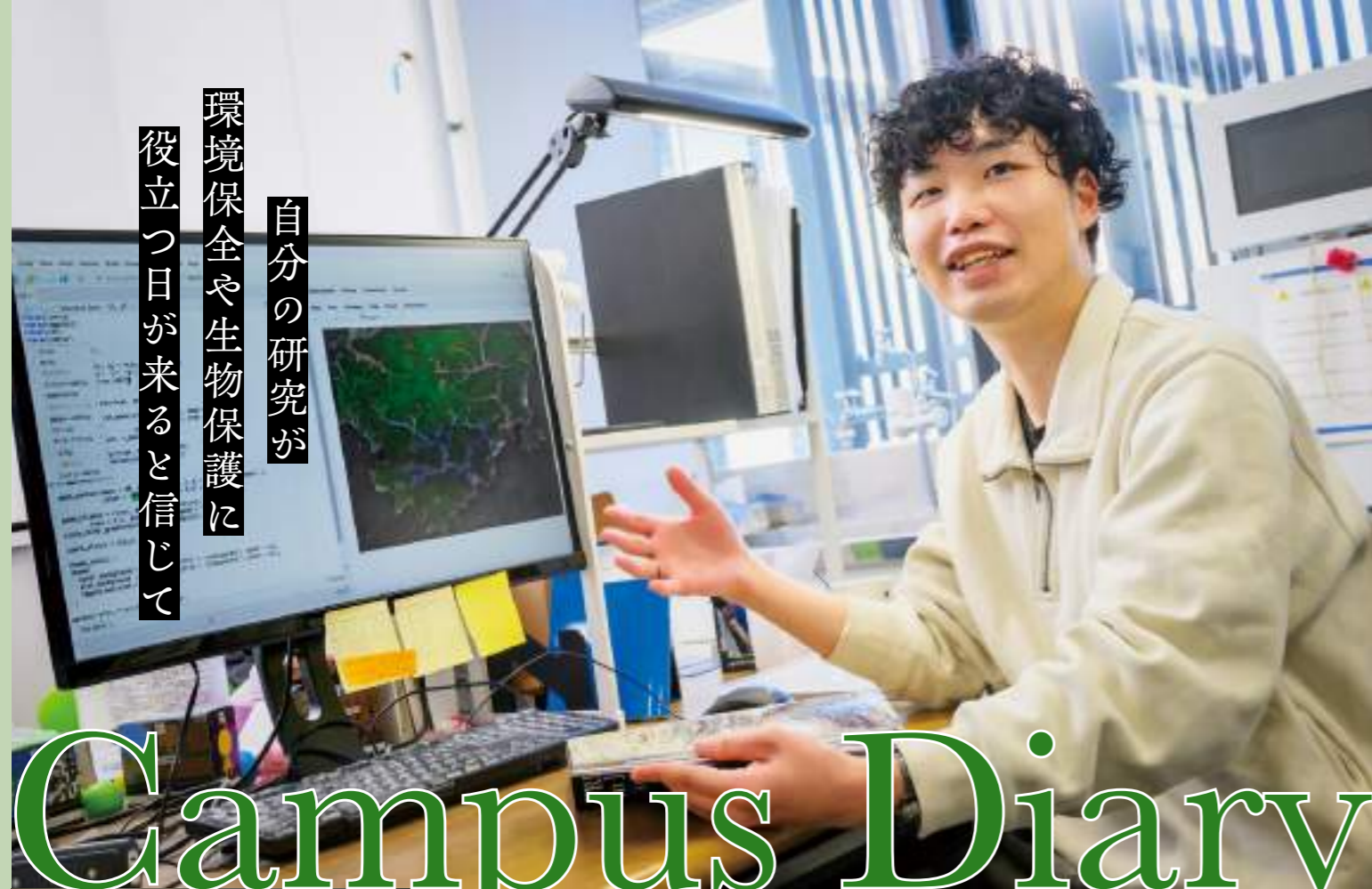
業種別就職状況・主な就職先

※2023～2025年 学部・大学院卒業生のうち、就職者

NTT データグループ/ NTT 東日本/ NEC ソリューションイノベータ/ シミックホールディングス/ ソフトバンク/ フューチャー/ TOPPAN エッジ/ オリコン/ UR コミュニティ/ パソナグループ/ 日水コン/ 都市再生機構/ メイテック/ イオンモール/ 東急不動産/ レバレッジズ/ 三井住友カード/ 大塚製薬/ 東芝/ 日立製作所/ 沖電気工業/ 三菱電機/ 日本信号/ 日本電気/ LIXIL / 東芝テック/ ビジネスエン지니어リング/ みずほリサーチ&テクノロジーズ/ ヤマトシステム開発/ 日鉄ソリューションズ/ オカムラ/ 大塚商会/ 財務省財務局/ 東京消防庁/ 東京水道 など多数



- 小峯力 教授**
Professor KOMINE Tsutomu
生命・健康科学
- Hotes Stefan 教授**
Professor HOTES Stefan
景観環境科学
- 高田まゆら 教授**
Professor TAKADA Mayura
保全生態学
- 檀一平太 教授**
Professor DAN Ippeita
応用認知脳科学
- 原田芳樹 教授**
Professor HARADA Yoshiki
都市生態学
- 三苦好治 教授**
Professor MITOMA Yoshiharu
環境材料学・エネルギー工学
- 山村寛 教授**
Professor YAMAMURA Hiroshi
都市（水）代謝マネジメント
- 竹内文乃 准教授**
Associate Professor TAKEUCHI Ayano
疫学・生物統計学



環境保全や生物保護に
自分の研究が
役立つ日が来ると信じて

Campus Diary

キャンパス・ダイアリー

真壁 侑大 / 人間総合理工学科 4年
福島県立会津学鳳高等学校出身

- Q. 人間総合理工学科を選んだ理由を教えてください**
文理融合・分野横断型の学習システムに惹かれたからです。数学を利用して現実問題に応用させたいと思ってはいたものの、やりたいことが明確ではありませんでした。人間総合理工学科は、数学・環境・生物・情報など、学際的に様々なテーマを学べる点が魅力でした。
- Q. 人間総合理工学科の魅力を教えてください**
例えば、研究の中で昔のことがわからないとき、歴史の研究をしている文学部の教授と共同研究をするなど学部を超えて研究しやすい環境が魅力的です。また意見共有・発表の機会が多く、アウトプットの方法も学べるので、課題解決能力やプレゼン能力が身につきます。
- Q. 特に面白かった授業や、学科の特徴的な授業について教えてください**
「保全生態学フィールドワーク・データ解析」は、実際に緑地や里山でデータを採取し、現地の条件を自分の目で確認したうえで解析作業をする授業です。実地調査、データ取得、解析・応用の流れ全体を体験できる、とても楽しい授業でした。
- Q. 研究テーマやその内容について教えてください**
保全生態学研究室で「天然ニホンウナギの河川遡上経路解析」をテーマに研究しています。ウナギが遡上する際に選ぶ経路や障害（堰やダム、傾斜、標高差）がどのように影響するかをフィールドデータやモデルプログラミングを組み合わせて明らかにしようとしています。
- Q. 高校生へのメッセージをお願いします**
社会理工学部、特に人間総合理工学科は文理横断型で幅広く学べる場所です。私も当初は、明確な目標がありませんでしたが、授業を通して自分の興味をたくさん見つけました。やりたいことがまだ決まっていない、多方面に興味がある人にこそ挑戦してほしい学科です。



Pick-up 授業

2年次 救急理論・実習



目の前の方が心肺停止で倒れたら、どうしますか？この実習では、一次救命の大切さと救命理論を学びます。机上の知識ではなく、命を救える実践的行動力を身につけます。

2年次 保全生態学フィールドワーク・データ解析



ますます重要になる生物多様性保全に、実際どう関わるべきでしょうか？この野外実習では、岩手県一関市の里山で保全生態学の考え方やモニタリング技術を身につけます。

2026年度入学生

	1年次	2年次	3年次	4年次
専門教育科目カリキュラム	基礎科目 微分・積分1 / 微分・積分2 / 線形代数1 物理1 / 物理2 / 化学1 / 化学2 / 線形代数2	化学実験 / 物理実験		
	コア科目 認知科学 / 生命倫理 / 地域環境科学 / 基礎生態学 / 基礎エネルギー制御学 / フレッシュマンセミナー / 確率・統計 / 情報処理 / 環境物理学 / 情報処理演習 / 健康科学概論 / 都市生態学概論	実用認知心理学 / 人体の構造と機能 / 生物統計学 / 都市環境デザイン / 保全生態学概論 / 水環境システム学 / 土壌環境制御学 / ソフトウェア / 救急理論・実習 / 環境デザイン概論・実習 / プログラミング言語1 / 応用生態学	人間総合理工学演習1 / 人間総合理工学演習2 / 環境エネルギー・自然誌実習 / 認知科学・健康科学実習 / インディペンデントスタディ3B	卒業研究I / 卒業研究II
	展開科目	心理統計学 / 心理統計学演習 / 保全生態学フィールドワーク・データ解析 / 基礎生物・生化学 / 地球科学 / 科学技術の発展と人間社会 / 現代物理学1 / 現代物理学2 / 地学1 / 地学2 / 微生物学	水環境工学 / 保健医療情報処理 / プログラミング言語2 / 生物統計学演習 / 認知マーケティング / 機器分析化学 / ヒューマンウェルネス論 / サステナビリティ行動科学 / 国際サステナビリティ計画 / 資源循環エネルギー学	ファンリテーション実習
	社会理工学部共通科目	社会理工学概論		

3年次 人間総合理工学演習



この演習では分野を横断した学びを活かした社会課題解決力を身につけます。実社会をフィールドとし、健康・都市生活・自然科学の切り口から課題解決につながる提案を行います。

3年次以降 充実したグローバル対応




最新の専門知識を「英語で学ぶ」ための授業が充実しています。大学院のGlobal Sustainability Science副専攻では、持続可能性に関する様々な分野を横断し、英語で学ぶことができます。

Pick-up 研究室

生命・健康科学研究室(小峯 力 教授)


小峯研究室では、例えば海で遊泳している人が溺れる主要因の「離岸流」をAIによって検知するシステムや、溺水(溺れるメカニズム)を体験できるVRシステムの開発を通じて、遊泳者の事故防止、及び救助者の早期救助救命に貢献しています。又、命を救い合える「病院前救命システム」の向上を目指し、AEDの有効的な配置や的確な実践研



究などを国内外の学会へ積極的に発表しています。

都市生態学研究室(原田 芳樹 教授)

都市計画や建築設計を支える先端技術の中でも、自然を活用するためのデザインと科学を幅広く扱っています。屋上緑化や室内緑化、環境再生型農業など、様々な事例を対象としており、ヒートアイランド現象の緩和、雨水管理、心理的ストレスの改善、ウェルビーイングの向上など、多様な効果に注目しています。環境とヒトに対する効果を総合的に扱い、理工



学・農学・芸術分野を横断して、夢のある未来の都市をカタチにしていきたいです。

共通カリキュラム

基幹理工学部・社会理工学部・先進理工学部では、コミュニケーション力、問題解決力、知識獲得力などを養成するために、外国語教育科目（英語、ドイツ語、フランス語、中国語）と総合教育科目（人文学、社会学、地学、体育）からなる共通科目を開設しています。ポータル時代のコミュニケーションを担保する語学力や、視野を広げる教養科目を身につけることは、専門的な理工学を学ぶためにも大きな力となっていきます。

全学科共通科目

		1年次	2年次	3年次	4年次
外国語教育科目	英語	英語表現演習1a/英語表現演習1b/英語講義演習1a/英語講義演習1b	英語表現演習2a/英語表現演習2b/英語講義演習2a/英語講義演習2b		
	第二外国語	ドイツ語初級(表現)a/ドイツ語初級(表現)b/ドイツ語初級(文法)a/ドイツ語初級(文法)b/フランス語初級(表現)a/フランス語初級(表現)b/フランス語初級(文法)a/フランス語初級(文法)b/中国語初級(表現)a/中国語初級(表現)b/中国語初級(文法)a/中国語初級(文法)b/日本語(読解)1a/日本語(読解)1b/日本語(表現)1a/日本語(表現)1b	ドイツ語中級Aa/ドイツ語中級Ab/ドイツ語中級Ba/ドイツ語中級Bb/フランス語中級Aa/フランス語中級Ab/フランス語中級Ba/フランス語中級Bb/中国語中級Aa/中国語中級Ab/中国語中級Ba/中国語中級Bb/日本語(読解)2a/日本語(読解)2b/日本語(表現)2a/日本語(表現)2b	英語コミュニケーションA/英語コミュニケーションB/アカデミック・コミュニケーション/アカデミック・R&W/中級英語試験講座A/中級英語試験講座B/上級英語試験講座A/上級英語試験講座B	
総合教育科目	スポーツ・健康	体育実技1a/体育実技1b	体育実技2a/体育実技2b		
	人文社会	健康スポーツ科学/スポーツ科学/生涯スポーツ科学/スポーツ解析/ライフセービング			
	グローバル学際	哲学A/哲学B/倫理学A/倫理学B/言語・記号論/情報・メディア論/科学思想A/科学思想B/心理学A/心理学B/芸術A/芸術B/憲法/法学/経済A/経済B/政治学A/政治学B/現代社会論A/現代社会論B/環境論A/環境論B/生命と多様性A/生命と多様性B/欧米の文化と歴史A/欧米の文化と歴史B/アジアの文化と歴史A/アジアの文化と歴史B/日本の歴史と現代A/日本の歴史と現代B/情報社会と倫理・職業/環境行政概論/教養演習A/教養演習B/日本語リテラシー基礎演習/科学技術と倫理/ジェンダー・セクシュアリティ論A/ジェンダー・セクシュアリティ論B			
		グローバルスタディーズA/グローバルスタディーズBI/グローバルスタディーズBII/グローバルインターンシップ			
学部間共通科目	グローバルアントレプレナーシップ入門/グローバルアントレプレナーシップ演習				
	技術と法/産業財産権法/知的財産法演習/知的財産取扱い基礎知識				
	AI・データサイエンス工学概論				
	学問最前線		学問最前線		
多文化共生論/障害学					
Global Issues A/Global Issues B/Education for SDGs/International Relations and Politics					
短期留学プログラムI/短期留学プログラムII/短期留学プログラムIII/短期留学プログラムIV					
		FLP演習A	FLP演習B	FLP演習C	
		AI・データサイエンス演習A(1)/AI・データサイエンス演習A(2)	AI・データサイエンス演習B(1)/AI・データサイエンス演習B(2)	AI・データサイエンス演習C(1)/AI・データサイエンス演習C(2)	
グローバル・フェトリアル/専門インターンシップ					
		グローバル総合講座/グローバル集中講義/グローバル遠隔ラーニング/グローバルアクティブラーニング			
AI・データサイエンスと現代社会/AI・データサイエンス総合/AI・データサイエンスツールI/AI・データサイエンスツールII/AI・データサイエンスツールIII/AI・データサイエンスツールIV					
大学生のための論文作成の技法(基礎編)/大学生のための論文作成の技法(発展編)					
キャリア・デザイン・ワークショップ					

注)履修科目・履修方法・配当年次は学科により異なります。

共通科目教員紹介

<p>英語</p> <p>印南洋 教授 Professor INNAMI Yo (担当授業科目) 英語表現演習/英語講義演習</p> <p>久留友紀子 教授 Professor KURU Yukiko (担当授業科目) 英語表現演習/英語講義演習</p> <p>Sampson Richard 教授 Professor SAMPSON Richard (担当授業科目) 英語表現演習/英語講義演習</p> <p>山西博之 教授 Professor YAMANISHI Hiroyuki (担当授業科目) 英語講義演習</p> <p>Rear David 教授 Professor REAR David (担当授業科目) 英語表現演習/英語講義演習/英語コミュニケーション</p>	<p>英語</p> <p>輪湖美帆 准教授 Associate Professor WAKO Miho (担当授業科目) 英語表現演習/英語講義演習/留学準備講座</p>	<p>ドイツ語</p> <p>木戸 蘭子 准教授 Associate Professor KIDO Mayuko (担当授業科目) ドイツ語/教養演習/ジェンダー・セクシュアリティ論</p>	<p>フランス語</p> <p>金澤 忠信 教授 Professor KANAZAWA Tadanobu (担当授業科目) フランス語/言語・記号論/情報・メディア論</p>	<p>中国語</p> <p>八木 はるな 准教授 Associate Professor YAGI Haruna (担当授業科目) 中国語/アジアの文化と歴史/多文化共生論</p>	<p>社会</p> <p>佐藤 修一郎 教授 Professor SATO Shuichiro (担当授業科目) 憲法/政治学/法学</p>
<p>人文</p> <p>志々目 友博 教授 Professor SHISHIME Tomohiro (担当授業科目) 環境行政概論</p> <p>寺本 剛 教授 Professor TERAMOTO Tsuyoshi (担当授業科目) 環境論/科学技術と倫理</p> <p>吉田 達 教授 Professor YOSHIDA Toru (担当授業科目) 欧米の文化と歴史/現代社会論など</p> <p>家本 繁 准教授 Associate Professor IEMOTO Shigeru (担当授業科目) 数学科教育法/情報科教育法/教育の方法と技術</p> <p>竹中 真也 准教授 Associate Professor TAKENAKA Shinya (担当授業科目) 哲学/科学思想/教養演習/科学技術の発展と人間社会</p>	<p>地学</p> <p>金田 平太郎 教授 Professor KANEDA Heitaro (担当授業科目) 地学/地学実験</p>	<p>体育</p> <p>高橋 雄介 教授 Professor TAKAHASHI Yusuke (担当授業科目) スポーツ科学/体育実技/夏季集中コース/水泳</p> <p>阿部 太輔 准教授 Associate Professor ABE Daisuke (担当授業科目) 健康スポーツ科学/体育実技</p> <p>八木 茂典 准教授 Associate Professor YAGI Shigenori (担当授業科目) 生涯スポーツ科学(スポーツ医科学)/体育実技</p>			

後楽園ダイバーシティラウンジ



学生の主体的・協働的な学び

多文化共生・国際共修(ICL)

アントレプレナーシップ教育

English Café

Global Café

後楽園ダイバーシティラウンジは、国際交流スペース、グローバルイノベーション拠点、ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)教育・支援の場として開室しています。

机・椅子等の什器はアクティブラーニングやグループワークに利用できる可動式のものを設置しており、D&I教育・支援のための書籍・漫画や、DVD等の視聴覚資料も閲覧できます。

D&I教育とは?

D&I = ダイバーシティ & インクルージョン (Diversity and Inclusion 多様性と包摂) とは、もともと人が持っている多様性が抑圧されたり、マイノリティが他者との違いによって困難に直面したり、排除されたりすることなく、誰もが尊重される社会を目指すことを示す言葉です。
理工 D&I 科目は、科学技術分野および現代社会の諸問題と向き合い、より多様で包摂的な社会の実現という喫緊の課題の解決に貢献できる理工系人材の育成を目指し、誰もが尊重される社会を作るための学びを提供します。他学部履修対象科目とすることにより、全学部学生に開放しています。

ジェンダー・セクシュアリティ論A・B

「ジェンダー・セクシュアリティ論A」では、D&Iの観点からフェミニズム、ジェンダー論、セクシュアリティ論の歴史と基本的な概念や知識について学びます。「ジェンダー・セクシュアリティ論B」では、基本的な知識も学びながら、より発展的なD&Iの論点も考えていきます。ルッキズムやセクシュアルマイノリティの置かれている状況など、現代社会・文化におけるアクチュアルな問題を考えるとともに、フェムテックをはじめとした、科学技術との関係性についても考察を深めます。

多文化共生論

社会における多様な言語・文化・宗教のあり方を学ぶとともに、異文化理解、ナショナリズム、人種差別や排外主義、移民・難民問題といったアクチュアルな論点について考察を深めることで、グローバル化の急速な進展の中で社会のD&Iを達成していくために何が出来るかを考えていきます。多文化共生についての十分な知識を得ることは、現在のようなグローバル化が急速に進展し続ける状況下において、将来、国際的な活躍を期待される学生にとって、とりわけ重要な知識・教養となってきています。

障害学

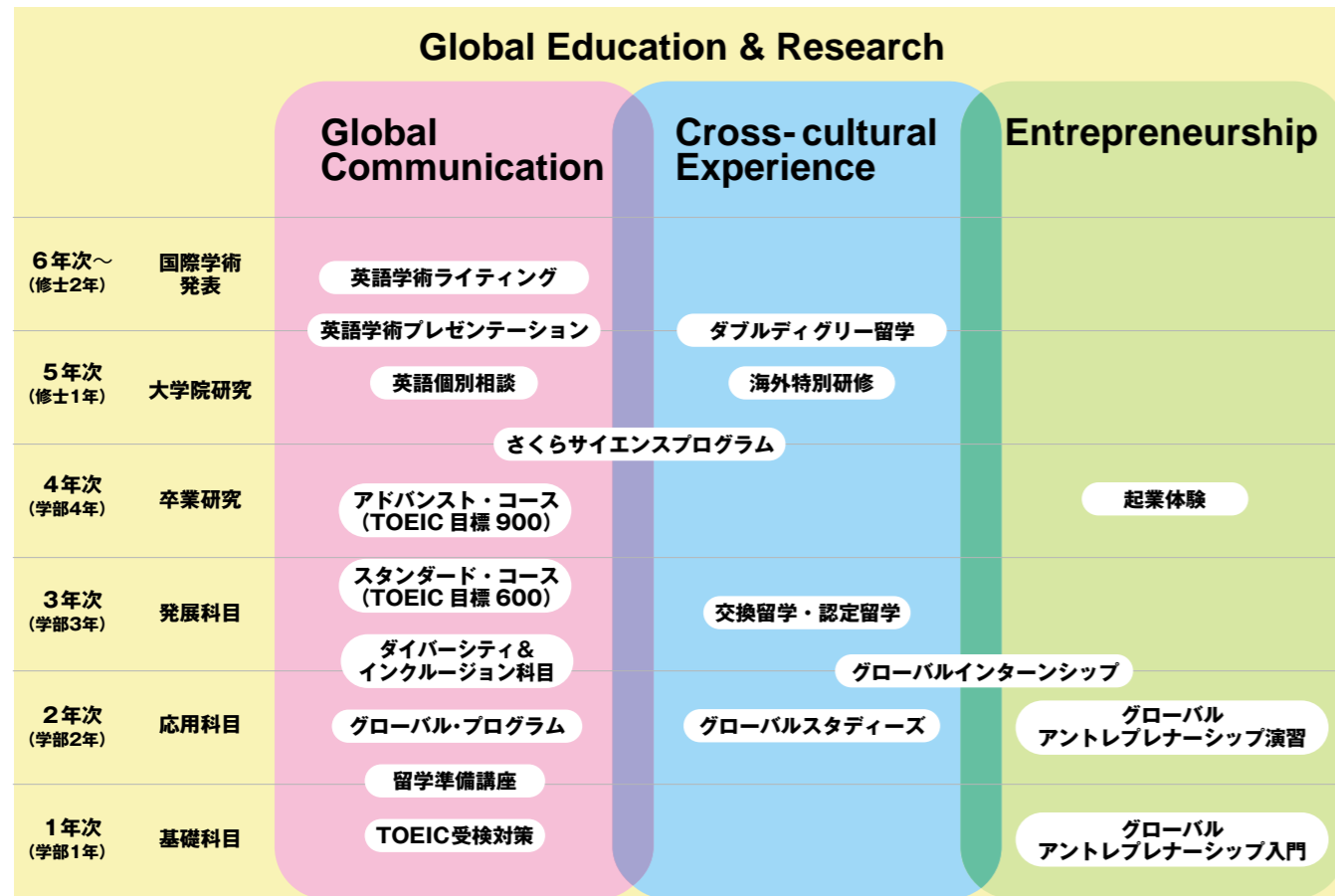
障害をめぐる社会の歴史と現状、障害は個人の心身機能の障害と社会的障壁の相互作用によって創り出されているという障害の「社会モデル」、その社会的障壁を取り除く責任は社会の側にあるとすることからなされる「合理的配慮」など、現代においてD&Iを考えるにあたり知っておくべき障害学の基本的な知識と考え方を学びます。また、バリアフリー、ユニバーサルデザインなど、社会的障壁を取り除いていく試みにおいて、科学技術は一層大きな貢献を果たすことが期待されていることから、自然科学や技術・工学の分野における貢献の可能性も考えていきます。



Global Education & Research

グローバル・パーソンを目指して

理工学の確固たる知識と教養を基礎とし、高度な英語運用能力とグローバルな視点を持ち、新たな価値を創造する精神(アントレプレナーシップ)とを兼ね備えた人材の育成に取り組んでいます。



Global Communication

学部 1・2年次 「英語表現演習1a~2b」
「英語講読演習1a~2b」

コミュニケーションスキル、ライティングスキル、リーディングスキルの基礎固めを行います。1年次には主に国際的・社会的・文化的トピックを、2年次には主に一般科学トピックを取り扱い、学生の知的好奇心を喚起します。

学部 3・4年次 英語運用能力や志向に合わせたコース設定

スタンダード・コース 「英語コミュニケーションA・B」
「中級英語試験講座A・B」

TOEIC600点以上の獲得を目指しながら、より高度な英語コミュニケーション能力を身につけます。

学部 1・2年次 「英語表現演習1a~2b(S)」
「英語講読演習1a~2b(S)」

英語に力をいれたい学生のために選抜上級クラス(Sクラス)を開講します。習熟度別の少人数のSクラスで、TOEIC等の英語検定試験への対応を視野にいれながらアカデミックな場面で活用できる4技能の向上を目指します。

アドバンスト・コース 「アカデミック・コミュニケーション」
「アカデミック・R&W」「上級英語試験講座A・B」

将来のキャリアで英語を使う可能性のある学生、または大学院に進学し国際会議等での活躍を目指す学生をサポートします。

全学年 理工学術院グローバル・プログラム 将来的に国際的学術場で活躍可能なグローバル人材を育成

2026年度からの入学生を対象に「理工学術院グローバル・プログラム」(エントリー制)が開始されます。参加要件は、英語外部試験利用方式(「理工学術院グローバル入試」)での入学およびTOEIC 600点以上取得者で、主に英語で開講される授業により高度な言語スキル(英語運用能力)を修得しながら、グローバルマインドやアカデミックスキルの醸成を図ります。必修の英語科目のSクラスを含む以下のような科目群から20単位を体系的に修得することでプログラム修了となり、修了者にはオープンバッジ(デジタル証明書)を発行します。

科目例: Global Issues I・II, Education for SDGs, アカデミック・R&W, 留学準備講座、教養演習(英語開講)

Cross-cultural Experience

留学や多文化共生・国際共修の場を通じて、多種多様な価値観や異文化を理解し、グローバルな視点を養います。

【短期留学】

グローバルスタディーズ

約1週間から4週間の海外研修を行い、学部での学びにつながる外国語運用能力の向上や多文化理解への機会を得ることができます。
[主な研修先] ハワイ大学/西オーストラリア大学/上海理工大学/カリフォルニア・シリコンバレー
※変更となる場合があります。

グローバルインターンシップ

海外での調査研究アクティビティを行う学部独自のプログラム。興味のある国・地域、テーマなどを選択し、実践的な活動経験を積むことができます。
[主な研修先] インド・ラマイア大学/インドネシア・バンドン工科大学/インドネシア・ダルマプルサダ大学/ベトナム/マレーシア工科大学プログラム
※変更となる場合があります。

1~2年次※

※年次は目安

【中長期留学】

交換留学

本学の協定校へ留学する制度です。募集時期は、年に2回(春派遣:留学前年の6月頃、秋派遣:留学前年の12月頃)で学内の選考を経て留学が決定します。

認定留学

協定にかかわらず、学生自身が希望する海外の大学(学士及び学位授与権を持つ大学)へ留学する制度です。自身で留学先の選定・手配をし、その後本学にて許可された場合に適応できます。

長期留学制度の詳細はこちら



3年次~※

ダブルディグリー留学

本学大学院理工学研究科に在籍しながら協定校へ留学し、留学先大学の科目を履修するとともに研究活動を行います。それぞれの大学における所定の単位を修得し、本学および協定校における修士論文・博士学位論文の審査に合格した場合に両大学から学位が授与されます。
[協定校] 国立中央大学(台湾)/バンドン工科大学(インドネシア)

修士(大学院)1年次~



Entrepreneurship

最新の国際情勢やビジネスプラン作成の基礎を学び、多種多様な価値観や異文化を理解するグローバルな視点を養うことで、変化を続ける現代の社会情勢において、自ら社会の課題を発見し、新たな価値を生み出していくアントレプレナーシップを醸成します。

学部 1・2年次 「グローバルアントレプレナーシップ入門」(入門)

日本の現状や、それに応ずるための企業の国際化、グローバル人材のニーズを理解した上で、個人のキャリアを振り返り、異文化コミュニケーションの必要性和多文化理解を学びます。また、第4次産業革命、世界のイノベーション、スタートアップ、エコシステムを理解し、アントレプレナーシップの基礎も身につけます。

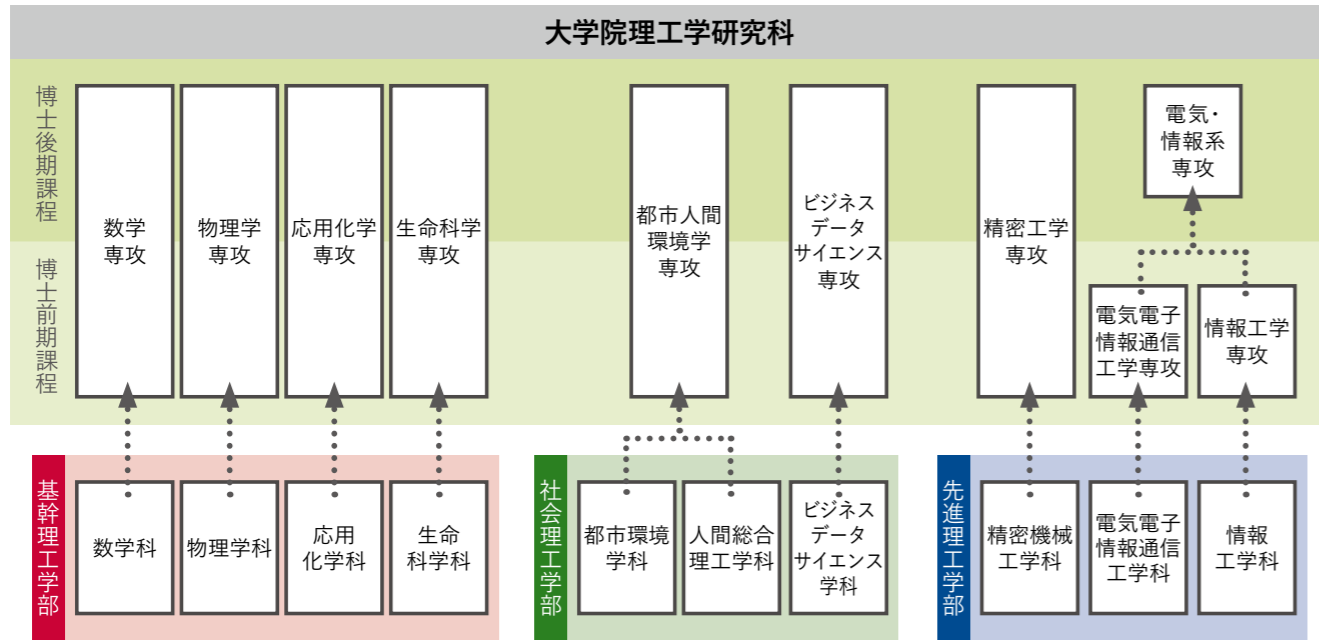
学部 3・4年次 「グローバルアントレプレナーシップ演習」(応用)

自身が深掘りしたいビジネスを取り決め、グローバルで通用するビジネスプラン作成を演習形式で実施します。また、自ら立案したビジネスプランを作成する効果的に発表する能力を養うために、グローバルピッチ演習も実施することにより、グローバルビジネスの基礎を身につけた人材創出を目指します。

大学院進学 学部から大学院へ — 理工学研究科

理工学研究科では、基礎科学、工学、文理融合分野に広くまたがって、最先端の研究が数多く進められています。また、都心に位置する後楽園キャンパスは、最新の学術情報や多くの研究者・企業が集まる「研究のハブ」として、学会や国際大会の会場としても活用されています。

学部卒業生は、4割以上が大学院に進学しています。大学院での研究活動を通じて、専門性を深め、「課題を見極める力」「問題を解決する力」「プレゼンテーション力」を身に着けた多くの修了生が、国内外でグローバル人材として活躍しています。



グローバル人材の育成

ダブルディグリー・プログラムでは、理工学研究科に在籍しながら協定校に留学し、留学先大学の科目を履修するとともに研究活動を行います。それぞれの大学における所定の単位を修得し、本学および協定校における修士論文・博士学位論文の審査に合格した場合に両大学から学位が授与されます。バンドン工科大学（インドネシア）、国立中央大学（台湾）と協定を締結しています。

大学院給付奨学金・大学院指定試験奨学金

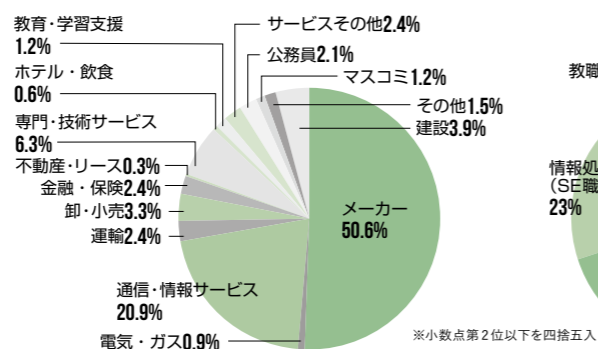
「中央大学大学院給付奨学金」では、博士前期課程1～2年生または博士後期課程の1～3年生のうち、学業成績または研究能力が特に優れている大学院生に50万円（1/2額の場合有）を給付します。また、「大学院指定試験奨学金」では、本大学院が指定する国家試験（国家公務員総合職試験、公認会計士および弁理士試験）の受験を志し、学力、研究応力および人物の優れている大学院生に、在学額相当額を給付します。

就職状況

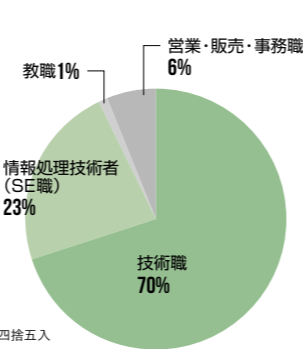
理工学研究科生の就職状況

理工学研究科では、先端分野で活躍するための知識や専門性が追求されています。そのため、職種別では技術職に就く学生の割合が70%と非常に高いことが、理工学研究科修了生の特徴です。また、業種別では就職者の半数を占める「メーカー」と「通信・情報サービス」を合わせて、全体の約70%を占めています。

【業種別就職状況 2025年3月修了生※】



【職種別就職状況 2025年3月修了生】



【主な就職先 2025年3月修了生】

日本電気/パナソニックホールディングス/三菱電機/日立製作所/日産自動車/NTTデータグループ/KDDI/アクセンチュア/本田技研工業/東日本電信電話/TOPPANホールディングス/富士通/日本工営/セイコーエプソン/キヤノン/リコー/東海旅客鉄道/京セラ/村田製作所/東京エレクトロン/三菱瓦斯化学/日本精工/富士電機/日本アイ・ピー・エム/日立プラントサービス/NECソリューションイノベータ/鹿島建設/みずほリサーチ&テクノロジーズ/国土交通省/大和総研/日立ソリューションズ/荏原製作所/野村総合研究所/日本総合研究所/エイト日本技術開発/ソフトバンク/TIS/東洋製罐グループホールディングス/大日本印刷/リンテック/レソナック/小松製作所/花王/NTTドコモ/トヨタ自動車/ソニー/レネサスエレクトロニクス/味の素/オリンパス/東日本高速道路/清水建設/三井住友カード/特許庁/IHI/サイバーエージェント/東京都教育委員会 ほか

究める — 大学院生からのメッセージ

都市人間環境学専攻

川村 勇斗

私立中央大学杉並高等学校（東京都）出身

大学1、2年生の頃は、大学院への進学については考えていませんでしたが、水理学の複雑な現象に興味を持つようになり、より専門的に学びたいと思い大学院への進学を決めました。

現在はタイ国バンコク都を対象とした内水氾濫に関する研究を行っており、水理情報が限られた地域でも高い精度で内水氾濫解析を可能にする、新しい解析手法の開発に取り組んでいます。新しい解析手法を適用することで、水理情報が少なくても浸水状況を再現することができるため、開発途上国や中進国での水害リスクマップの開発に貢献できます。

この研究に限らず、新しいアイデアを生み出す面白さや、自ら課題を発見し、解決する楽しさがあるところが研究の醍醐味です。

さらに、大学院では海外出張、行政や企業との交流を通して、学部時代には得られなかった高度で専門的な知見や経験が身に付いていると日々実感しています。

私たちの学ぶ分野は、防災や都市計画など社会の安全・安心を支える重要な分野です。大学入学後でも遅くはないので、ぜひ大学院の世界にも興味を持ってもらえたら嬉しいです！



ビジネスデータサイエンス専攻

土谷 睦月

私立札幌日本大学高等学校（北海道）出身

私は所属するセンシングデータ解析研究室で、特定のテーマに深く取り組むことの楽しさとやりがいを知り、もっと深く追求したいと思い大学院進学を決めました。

私の研究テーマは「センサーを用いた非接触によるストレス評価法の開発」です。この研究の目的は、従来の装着型キットや唾液検査、病院での検査に頼らない、より簡易かつ低コストなストレス指標の測定方法の開発です。ストレスという目に見えないものを、センサー技術とデータ解析を駆使して「見える化」する点に面白さを感じています。さらに、非接触での測定という新しいアプローチは、従来の方法に比べてユーザーの負担を大幅に軽減する可能性があります。将来的にはこの技術が、人々の精神的ストレスからくる病気の早期発見や予防に応用されることを目指しています。

データサイエンスは、今の時代にとっても重要な分野です。データを利用してビジネスの問題を解決する方法を学べます。この分野に興味があればぜひ挑戦してみてください。中央大学での学びが、皆さんの未来を切り開く大きな一歩になるはずです。



都市人間環境学専攻

加藤 万里萌

神奈川県立柏陽高等学校出身

学部生時代は、大学院入試に向けた勉強と研究活動の両立に力を入れてきました。光合成微生物の反応を経時的に調査する研究に取り組み、継続的な実験と入試勉強を並行して進める日々を過ごしました。その中で、計画的に物事を進める力や、粘り強く課題に向き合う姿勢が養われたと感じています。

高校生の頃から途上国に関わる仕事に就きたいと考えており、特に安全な水の確保という課題の解決に携わりたいと思うようになりました。その実現に向けて、水処理に関する専門知識や研究経験をさらに深めるため、大学院への進学を選びました。現在は、浄水場の沈殿池における薬品注入量の自動化を目指した研究に取り組んでいます。濁質が薬品によって塊となる「フロック」の挙動を画像解析し、その特徴を分析しています。その結果、浄水場ごとにフロックの性質が異なることが明らかになり、これまで職員が目視で判断していた情報を定量的に評価できることに面白さを感じています。

大学院に進学することで、2年間を通じて一つの研究に向き合うことができます。授業で学ぶだけでなく、自ら考え、試行錯誤しながら研究を進める経験は、専門性を深めるだけでなく、問題解決力や考える力を大きく成長させてくれると思います。



キャリアサポート

理系学生が選ぶ就職企業
上位100社に183名が就職！

(2025年度理工学部・理工学研究科卒業生実績)

各学科の就職実績はこちら

都市環境学科→P.08
ビジネスデータサイエンス学科→P.12
人間総合理工学科→P.16

基幹理工学部・社会理工学部・先進理工学部生に特化した就職支援

後楽園キャンパスには、基幹理工学部・社会理工学部・先進理工学部生に特化した理工キャリア支援課があり、進学や就職活動に関する支援活動を行っています。また、個別面談を随時受け付けており、履歴書やエントリーシートの添削、模擬面接、進学や就職に関する様々な相談に応じています。

キャリアデザイン

キャリアデザイン・ノート

キャリアデザインの第一歩は、自分自身を知ること。キャリアデザイン・ノートやセミナーを活用して自分と向き合い、自らの興味・関心や得意なこと、苦手なことを把握します。

卒研・院進のための進路ガイダンス

理工系人材のニーズが高まる今、大学院進学や研究室での学びが、将来のキャリアにどう繋がるかを詳しく解説します。学部卒と院卒での働き方や待遇の違い、各研究室の学びが社会でどう役立つかなどを学び、納得のいく進路選択につなげます。

過去の主なテーマ

▷卒業後のキャリアを考える ▷学生時代を楽しみ尽くす～キャンパスライフとキャリアデザインの両立～ ▷エンジニアが伝える大学の学びと仕事との繋がり～理工系大学生になって知っておきたいこと～ ▷理系こそ必要な情報満載～新聞を短時間に効率的に読む～

進学・就職活動サポート

サマーインターンシップ×業界・企業理解セミナー

各業界を代表する企業から、夏のインターンシップ情報や業界のリアルを直接聞くことができます。多様な業界に触れることで、自分の関心分野とのつながりを見つけ、就職活動の軸を明確にすることができます。

技術面接セミナー

卒業後に技術職を目指す場合、「技術面接」試験が実施される場合があります。ここでは自身が行ってきた研究・勉強について、企業側にわかりやすく伝えなければなりません。

理工キャリア支援課では、企業で責任者クラスの技術者や採用に関わっている理工卒業生を招き、技術面接の対策講座を実施。模擬面接とフィードバックで、本番への準備を整えます。

学生アドバイザー「CREW」

CREWは、就職活動を終えた学生が、理工キャリア支援課と連携して、後輩に向けてインターンシップや就職活動に役立つサポートを行っているボランティアグループです。支援行事の企画・運営のほか、実体験を踏まえた進路就職相談を行い、後輩にとって心強いサポーターとして活動しています。

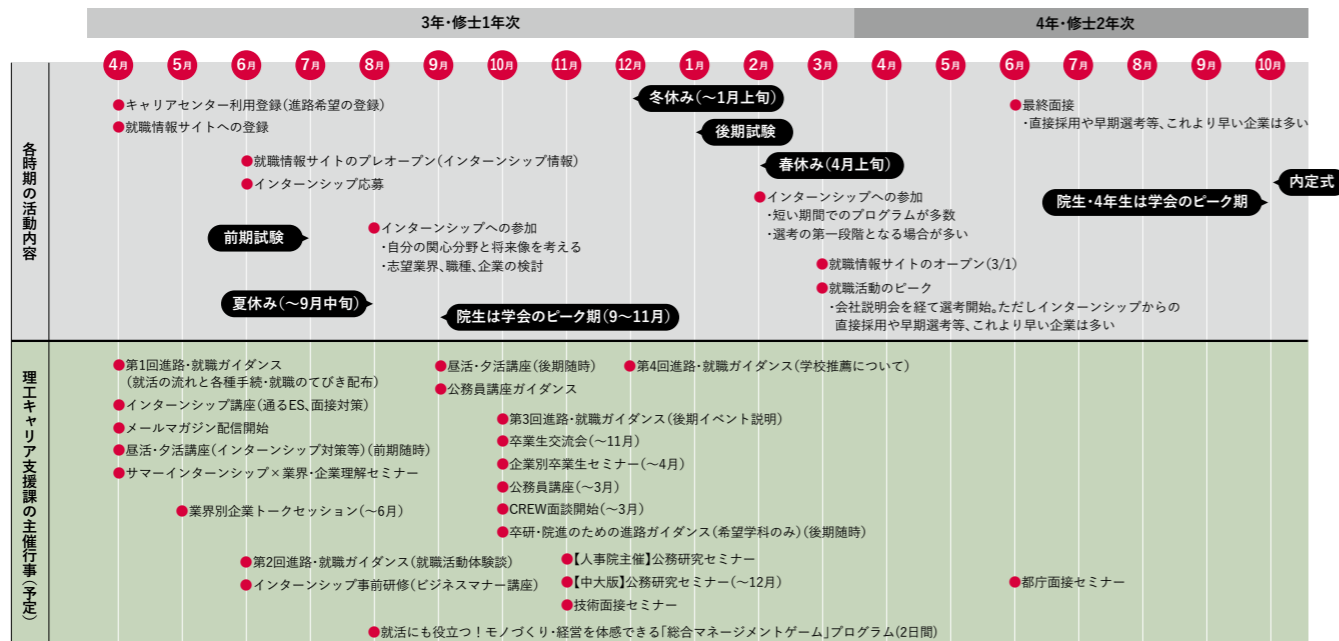
卒業生交流会

様々な業界で活躍する若手卒業生をお招きし、就活生との交流会を行います。実社会で活躍している先輩から、仕事のやりがいや働き方を聞き、将来設計について相談することで、これからの就職活動の指針ができていきます。

Chu活ポット

中央大学のマスコットキャラクター「チュー王子」の3Dアバターが面接官となり、AIを活用した最先端の面接練習を行うことができます。(本学大学院理工学研究科情報学専攻修了の水谷林太郎氏が開発しました)

就職活動スケジュール



奨学金

中央大学独自の給付型奨学金（一例）

名称	金額	給付期間	募集人数	対象
中央大学予約奨学金 (入試出願前予約採用型給付奨学金)	授業料相当額の半額	4年間 (※ただし、毎年度の継続審査により給付が継続できないことがあります)	100名程度 (全学部合計)	学業成績が優秀な首都圏(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)以外の国内高等学校出身者で、経済的理由がある場合でも中央大学への進学を志す者
中央大学 学長賞・学部長・ 理工学術院長賞 給付奨学金	〈学長賞〉 授業料相当額の半額(※) 〈理工学術院長賞〉 30万円(※)	1年間 (再出願可)	〈学長賞〉 若干名 〈学部長賞〉 26名程度 (3学部合計)	〈学長賞〉 履修年次4年次生で、学力・人物ともに特に優秀な学生 〈学部長賞〉 履修年次4年次生で、学力・人物ともに優秀な学生
社会理工学部給付奨学金	20万円	1年間 (再出願可)	120名程度 (3学部合計)	履修年次2年次以上の学生で、学力・人物ともに優秀な学生
理工たくみ奨学金	3～10万円程度 (留学プログラムにより異なる)	半年 (再出願可)	若干名	海外において留学や研修などの諸活動により、本奨学金の目的にふさわしい実績をあげることが期待される学生
理工留学プログラム 給付奨学金(短期留学)	3～10万円程度 (留学プログラムにより異なる)	半年 (再出願可)	若干名	学部独自の留学プログラムを通じ、海外において留学や研修などの諸活動により、本奨学金の目的にふさわしい実績をあげることが期待される学生

※給付奨学生一人あたりの給付金額は、当該年度に納入すべき授業料相当額の半額を超えないものとします。

その他の奨学金制度はこちら ▶



学生サポート

学習支援センター

数学や物理の基礎的な分野を中心に、教員や大学院生による個別指導サポートを行っています。分野によっては、高校の内容に加え、大学の講義に対応する内容も扱っています。予約不要、利用は無料です。

保健センター

学生・教職員の健康診断を中心とした健康管理を行い、必要な医療を提供しています。さらに、学内診療所として、医師や看護師が日常の怪我や病気の診療を行う医療サービスもを行っています。

学生相談室

専門相談員(ドクター・心理カウンセラー)や、教職員相談員が、あらゆる相談を受け付けています。困っているとき、悩んでいるとき、誰かに話を聞いてほしいとき、安心して相談ができる体制を整えています。

中央大学生協理工店

生協の専門スタッフや学生スタッフが住まい探しをサポートします。学業に支障が出ないように、通学時間が30分前後になるエリアを中心に、お部屋を紹介しています。上京してきた学生でも、安心して学生生活を送ることができます。